

# 第 1648 回例会報告

令和2年6月18日(木)晴れ

## 会長挨拶

## ◇幹事報告◇

### セブの隔離措置

### 【報告事項】

会長 西澤賢二

2019-2020 年度地区ロータリー青少年基金へ「ブナの森整備」を「マスク寄付」に代え報告しました

1647回例会で海外(フィリピン)でのロックダウンには4つの段階があると話をしました。

## 第1648回例会

## 2019-2020事業報告

日本人と外国人とでは危機感の違いがあるようで、先日CEBUもGCQ(一般的なコミュニティ隔離処置)に戻ったとお知らせしましたが、2週間で毎日200人を超える感染者が報告され結局ECQ



(強化されたコミュニティ隔離処置)最も厳格な隔離処置に後戻りしてしまいました。

教育の違いなのか国民性なのかわかりませんが段階が下がったことで締め付けられていた隔離処置から解放されたという気持ちもあるせいで自由でも自粛することを忘れてしまっているようです。国の方針の違いはありますが権力だけで押さえた結果なのかもしれませんね。

コロナ禍での新しい生活を余儀なくされ一人ひとりが自粛し自由の中にもルールを作り生活をすする時代になってしまいましたが、我々ロータリアンは今まで通りの活動とは手法を変えアイデアを出し合い今まで以上の活動が出来るよう今年以上に来年もお願いします。

本日の例会は2019-2020事業報告でした。関係者の皆様ご苦労様でした

### 事業報告

#### クラブ奉仕委員会

#### 小口直久委員長

35期クラブ奉仕委員会

は、親睦事業として8月1日にミラノ・サローネ・アネックスにおいてハワイアンバンド『ザ・クインビー』をお招きして夜間家族納涼例会を行いました。アロハシャツをまとい、レイを首にかけ、歌にダンスに..まさにハワイさながらという雰囲気の中、楽しい時間を過ごしました。10月7日は、例年通り3クラブ合同例会をライフプラザマリオで開催しました。3クラブの絆をさらに強くする楽しい合同例会となりました。



12月15日は、夜間家族クリスマス例会をミラノ・サローネ・アネックスにおいて開催しました。バイオリン&ギターデュオのNYTを迎え、聖なるクリスマスの夜にふさわしい楽器の音色の中、会員、家族共に楽しい一夜を過ごしました。

11月30日には、当クラブ35周年記念式典を盛

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のこトバ	
会員数	38人	9名	24000円	2021-2022の地区大会の会場が、下諏訪文化センター・体育館で行うことに決定いたしました。 実行委員長 小松孝弘 本日1時半開催の下諏訪町社会福祉協議会評議員会で認知症初期集中支援事業の報告がなされ、平山会員と小笠原会員のお名前を聞くことができます。医師お二人のIseraveに敬意を表します。 御子柴 文夫 駒場豊会員が岡谷工業高校PTA会長にご就任されます。ロータリアンの心で頑張ってください。 御子柴 文夫 駒場さんPTA会長おめでとう 河西 達雄 御子柴さん、河西さんありがとうございます。とりあえず頑張ります。先輩方何かあったら助けてください。よろしくおねがいします。 駒場 豊	
出席対象	37人	累計	540000円		
出席者数	38人	目標額	60万円		
出席率	100.00%	達成率	90.2%		
前回修正	100.00%				

大に開催しましたが、クラブ奉仕委員会は総務部会として式典に関わり、会員はもちろん大勢の招待した皆さんと共に節目の年を祝いました。

2月27日まで通常のプログラムを行ってききましたが、3月以降コロナウイルス感染防止のためすべてのプログラム、イベント、行事は中止とさせていただきます。

これからこのコロナの影響が何時まで続くのかわかりませんが、以前のような例会ができますよう少しでも早い収束を願うばかりです。

出席に関しては3月以降コロナウイルス感染防止のためやむなく例会等中止とさせていただいたために、会員全員出席扱いとなっております。来期以降も安全を考慮いたしますと例会参加を見合わせる会員も出て参りますので、こちらも基本的には参加扱いとなりますがズーム等を利用してコミュニケーションを図ればコロナ渦の中、有効なクラブ運営ができるのではないかと考えます。

ニコニコボックスに関しては目標600,000円ですが、何とか最終例会までに達成できるように努力したいと考えております。

最後に、今期後半よりコロナの影響でいろんな制限が発生したにもかかわらず会員の皆さんには大変ご協力いただき、充実した1年が送れたと思っております。1年間ご協力いただきありがとうございました。

## 職業奉仕委員会

## 高林一紀委員長

職業奉仕に対する理解職業奉仕を明確に定義することは容易ではありませんが社会的責任を自覚し、職業を通じて職業奉仕の実践、行動へとつなげていきたいと考え事業を進めてきました。



### 【事業】

7月25日 1608回

外部講師卓話 講師山崎保範氏  
「ものづくり技術者の私を振り返って」  
時計技術はロボット医術の母

10月24日 第1619回

新会員卓話  
五味博之会員(2018年～2019年度入会)  
北原散也会員(2019年～2020年度入会)

2月27日 第1633回

会員の健康診断と卓話醇

平山先生、小笠原先生、それぞれのスタッフの方々に深く感謝いたします。

### 「1」会員の健康診断

検査項目:問診 腹囲測定 血圧測定 尿検査 血液検査 PSA 希望者のみ)

### 「2」会員卓話 平山隆勇会員

末病(フレイル)について

4月9日 第1639回

新会員卓話 駒場 豊会員

新型コロナウイルス拡大のため例会が中止になりましたのでウイークリーに卓話記事を掲載し卓話代えさせていただきました。

6月11日 第1647回

35周年記念事業 式典部会担当

35周年記念事業において、職業奉仕委員会は式典部会を担当しました。

### 会員増強特別委員会報告(2019～2020)

会員増強については、新会員溶け込みやすい環境づくりに心がけ、西沢会長、

小松会員、小笠原会員から推薦を頂き2名の会員増強を達成いたしました。

北原数也 会員 令和1年9月入会

駒場 貴 会員 令和2年1月入会

## 社会奉仕委員会

## 三村昌暉委員長

### 1. 諏訪湖浄化活動の推進

・諏訪湖クリーン祭への参加協力・・・湖岸清掃  
・「湖上観察会」・・・35周年記念事業の一環

8月11日、今季限りで廃船になる「竜宮丸」をチャーターして小学生を対象にした湖上観察会を実施。また諏訪湖を考える事業(諏訪湖と周辺にまつわる文化と歴史の探求)

### 2. 例会の開催

第1607例会 「八ヶ岳の大崩壊」元下中校長 三村昌弘氏卓話

第1621例会 「世界唯一の2万年文明・諏訪」  
スワニズム事務局長 石埜三千穂氏卓話

第1624回例会 「諏訪湖の狩人たち・曾根遺跡」  
大昔調査会、10回尖石縄文文化賞受賞 三上徹也氏卓話

第1636回例会 「茶臼山城と高島城」

大昔調査会の理事長、高見俊樹氏卓話  
コロナ感染症為 中止

### 3. 青少年奉仕委員会との協働事業

里山整備事業・・・新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される現状を考え中止。中止となった、

里山整備事業の為の地区資金と里山整備事業予算を活用し、下諏訪町に7,000枚のマスクを贈呈

○東日本大震災復興支援事業

○35周年記念事業・国内事業小部会担当

○湖上観察会

○35周年記念事業に基づく例会の開催

○『諏訪湖物語』仮タイトル

40周年を目標に、そこに訪れれば、諏訪湖を中心としたすべての事が学べる場所の確保と展示方法及び機材の検討。

○助成金の贈呈』

信州大学湖沼高地教育研究センター 諏訪臨湖

実験所 1000,000円

下諏訪町湖浄連 1000,000円

### 国際奉仕委員会

宮坂英貴委員長

本年度、国際奉仕委員会では西澤会長の「ひらめきと継続」の活動方針の元、事業実施してまいりました。

・米山小学会寄付は、会員13名から44万円の寄付をいただきました。

・ロータリー財団寄付は、会員18名から7

8万8千円の寄付をいただきました。

・ポリオ撲滅寄付は、本会計より30ドル×会員数を送りました。

・セブ島支援については、継続して鍵盤ハーモニカを収集し、フィリピンの子どもたちに送り届けました。

本年度創立35周年という節目に辺り、国外記念事業として、「鍵盤ハーモニカを使った音楽祭」を10月12日、現地セブ・マクタン島にて開催しました。

開催規模は800名を超える現地の人々と、当クラブ関係者19名によりガイサノアイランドモールにて盛大に開催させていただきました。

その様子を11月30日に開催した諏訪湖ロータリークラブ創立35周年記念式典の場にて、ビデオ上映により発表・報告させていただきました。

フィリピンの子どもたちに音楽を通じて学びの場を与えるのと同時に、今回の音楽祭を評価検証し、40周年に向けて現在のセブ島支援を含め、今後どのような事業を中心に活動していけば良いのか



についても検討する一助となりました。

・ミンダナオ子ども図書館財団(MCLF)支援については、活動支援金として5万ペソ(クラブ3万・個人2万)の寄付をしてきました。

一年間皆様のご協力誠にありがとうございました。特に西澤会長のお力添えには心より感謝しております。本当にありがとうございました。

### 青少年奉仕委員会

太田淳也委員長

○担当例会

・8月22日1611回

「つつじが丘学園」川瀬園長先生による卓話

親による「心理的虐待」が年々増えていて、現在全国で8万件もある事実を知りました。

・10月3日 1617回

「この街学園」ICS(株) 宮澤弘樹社長様による卓話 諏訪湖 RC の会員の企業様も「この街学園」とたくさん関わりを持っている事も知ることが出来ました

・2月13日 1631回

「諏訪ローターアクト」について(有)大成クリーニング 玉本広人社長とご子息様による卓話 会員が1人もいないところから再スタートし、苦勞しながら今の諏訪ローターアクトになった事を改めて知ることが出来ました。

・3月12日 1635回

「ガールスカウト」小日向様による卓話を予定していましたが、コロナの影響で中止

※11/30の35周年記念事業の際、ガールスカウトへ助成金を贈呈。

・4月26日 1641回例会で予定していた、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会との協同での「里山整備事業」が緊急事態宣言を受け中止となり、「地区補助金」の有意義な活用を考え、社会奉仕委員長の三村さんと一緒に、地域の小・中学生と職員の皆様と、地域福祉に役立てていただく為に、5月19日に下諏訪町長 青木悟様へ「マスク7000枚」を寄贈させて頂きました。何よりも西澤会長にご尽力していただき、小口幹事さん・三村さん・宮澤さん・メンバーの皆さん・事務局の協力のもと、マスコミ各紙・各局にも取り上げていただきましたことに感謝申し上げます。35周年という節目の年度に、私達 諏訪湖ロータリークラブの素晴らしさ、



凄さが表せることが出来ました。今年一年間、本当にありがとうございました。

### クラブ会報雑誌広報委員会 宮澤孝良委員長

本年度の活動方針である「ひらめきと継続」によって諏訪湖ロータリークラブの伝統を守り続けていくためには、変化に対応していかなければなりません。コロナウイルス感染症の拡大により予測不可能な事態となりました。例会への出席が



困難な状況において、ステイホームのなか、会員同士の個々の情報や感動・関心を共有することが必要だと感じました。会員の“今”の自分をコメントや写真にして皆さんに届けてもらいその内容をウイークリーに掲載し「ありのままの」情報を発信できたのではないかと思います。

対外的には、コロナウイルス対策のためのマスク寄贈を報道機関(TV局4局、新聞社3社を通じて、ロータリー活動や奉仕活動についての情報を提供することにより、ロータリアン以外の人々にロータリーの存在意義を理解・評価してもらうことができたのではないかと思います。

内部としては、35周年の記念誌発行事業があり、実行委員の方々並びに各部会、会員の皆様にご指導・ご協力をいただき、記念誌を発行することができました。また上記の通り、例会休会中のウイークリーの会報を充実させ、情報を共有する手段と致しました。しかし、会員に対する情報提供として「ロータリーの友」を紹介したり、会員、各委員会に投稿を依頼することが出来ませんでした。次期に期待したいと思います。

### SAA 御子柴文夫

当会では会場監督より例会セレモニー進行(司会)の役割が求められます。

本年は感染症(COVID-19)対策のため例会場に集まらない事態となりました。

集まる目的に「会員の親睦・意思の交流・奉仕(Serve)の状況伝達」があります。

会員諸氏の努力にてLINEや週報誌の郵送により少々は補完されました。

そして会長の英断で集まらずとも達成できるZoom

導入例会(E-例会)が試行されました。

苦境の中でも目的達成の手段構築の一助に取り組めた事を幸いと思います。

集まれる回数の少ない例会での業務となりましたが皆様の優しさに感謝申し上げます。

### 出向報告

#### 2600 地区グローバル補助金推進小委員長崎政直

ミンダナオ子ども図書館財団(MCLF)支援の一つとして、孤児、片親、困窮家庭の子供達を住ませ、小学校から、高校、子供の意思によって大学まで勉強できる活動等をしている宿舎の水回り改善計画に、グローバル補助金を活用するため



の情報を得、また地区の支援も期待して、向学心旺盛にして、2年間、出向しました。残念ながら小委員会活動には期待に応えるものはなく、出向は時間の無駄であったと感じています。

尚、グローバル補助金の要件の一つ現地ロータリークラブとの協働事業であることを満たすために、現地キダパワン・メロ・ロータリークラブと水利の悪い2集落への水供給計画でしたが、現地行政キダパワン市当局がその事業を実施することとなりました。しかし、その事業計画では、末端のミンダナオ子供財団宿舎への水供給計画はなく、グローバル補助金を使うメロ・クラブとの協働事業はとりやめとなりました。現在、敷地内へ深い井戸を掘削して、不足している飲料水等を確保する計画を立案中ですが、地域社会を対象にした計画でないとグローバル補助金の対象にならないとこのことで、地区資金、クラブ拠出金、個人寄付等の資金調達が必要です。



このほか田中35周年実行委員長、北原直前会長、吉澤會計より報告・途中経過報告をいただきました